

(様式第9)

帝大病第 11-559号

平成 23年 10月 日

厚生労働大臣 殿

学校法人 帝 京 大
理事長 冲 永 佳

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	170人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療の提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	303	3.5	306.5	看護業務補助	35.7	診療エックス線技師	
歯科医師	3	0.1	3.1	理学療法士	19	臨床検査技師	77
薬剤師	50	1.0	51.0	作業療法士	8	衛生検査技師	
保健師			0.0	視能訓練士	12	その他	
助産師	47	1.4	48.4	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	1000	6.2	1006.2	臨床工学技士	13	医療社会事業従事者	5
准看護師	12	0.3	12.3	栄養士		その他の技術員	7
歯科衛生士	4		4.0	歯科技工士	1	事務職員	150.8
管理栄養士	6		6.0	診療放射線技師	49	その他の職員	13

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	811.7	3.3	815.0
1日当たり平均外来患者数	1,702.3	54.3	1,756.6
1に当たり平均調剤数	1,916		

- (注) 1 「歯科等」の欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調整延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	好塩基球ヒスタミン遊離反応によるアレルゲン同定	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 アレルギー患者の好塩基球ヒスタミン遊離試験は、血液を用いてアレルギー反応を体外で起こさせる試験法であり、患者に直接アレルゲンを投与する必要がないので安全にアレルゲンを同定できるという特徴を有する。一部の食物アレルギーに対してのみ保険適応がある。本試験法を用いて、本学の研究室内で、アナフラキシー既往を有する患者に対して本検査を行った。			
医療技術名	ドナーHLA検査	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 造血細胞移植のドナーになり得るかどうかが兄弟のHLAを調べる			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	193人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	41人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	76人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・全身性エリテマトーデス	188人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	37人
・再生不良性貧血	31人	・混合性結合組織病	14人
・サルコイドーシス	38人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・特発性間質性肺炎	11人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	103人	・網膜色素変性症	34人
・特発性血小板減少性紫斑病	60人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	25人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	110人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	12人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	11人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	19人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	43人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	89人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	1人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21人
・後縦靭帯骨化症	19人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	30人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	22人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	4人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	25人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・超音波骨折治療(開放骨折、粉碎骨折の場合)	・
・画像等手術支援加算 2実物大臓器立体モデルによるもの	・
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 50 例 / 部検率 9.54%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
切除不能・再発結腸/直腸がん初回化学療法例に対する5-fluorouracil(5-FU)/leovorfolinate calcium(1-LV)+oxaliplatin(L-OHP)+bevacizumab(BEV)併用療法対5-FU/1-LV+irinotecan(CPT-11)+BEV併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験	江口研二	内科	¥210,000	補委 (特非)西日本がん研究機構
進行再発肺腺癌におけるゲフィチニブとエルロチニブのランダム化第Ⅲ相試験	江口研二	内科	¥420,000	補委 (特非)西日本がん研究機構
緩和ケアプログラムによる地域介入研究	江口研二	内科	¥146,580,000	補委 厚生労働省
アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	大田 健	内科	¥12,500,000	補委 厚生労働省
成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実践に関する研究	大田 健	内科	¥7,590,000	補委 独立行政法人環境再生保全機構
気道ウイルス感染に対するマスト細胞の生体防衛的役割の解明	長瀬洋之	内科	¥1,430,000	補委 文部科学省
C.Difficileフラジェリンが感染成立に果たす役割の研究	太田康男	内科	¥1,170,000	補委 日本学術振興会
フェニルブチレート胆汁うっ滞抑制作用の検討	滝川 一	内科	¥1,300,000	補委 文部科学省
感染症制圧に向けた易感染宿主の好中球機能異常解析と感染防御能モニタリングの確立	斧 康雄	内科	¥1,690,000	補委 文部科学省
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究-心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓性疾患を対象として-	久山 泰	内科	¥180,000	補委 (財)循環器病研究振興財団 (株)バイオメデイスインターナショナル
腎臓足細胞の障害は不可逆か。足細胞特異的遺伝子欠損動物を用いた治療可能性の検討	渡邊秀美代	内科	¥1,599,000	補委 文部科学省
細胞死を感知し炎症を惹起する分子機構解明	河野 肇	内科	¥1,599,000	補委 文部科学省
播種性血管内凝固症候群発症余地マーカー作出の臨床検査学的探索	齊藤紀子	内科	¥540,000	補委 文部科学省
アレルギー性炎症に及ぼす高血糖およびRAGEの作用解析と治療応用への試み	鈴川真穂	内科	¥2,470,000	補委 文部科学省
高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究 -消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討-	池田康夫	早稲田大学	¥61,218,000	補委 厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	坪内博仁	鹿児島大学	¥78,000,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
医薬品開発のための副作用予測法・評価法の開発 ー薬物性肝障害の臨床情報集積と分析および薬物起因性ラット胆汁うっ滞の病態解析ー	黒瀬光一	国立医薬品食品衛生研究所	¥18,000,000	補委 (財)ヒューマンサイエンス振興財団
悪性胸膜中皮腫の診断および治療法の確立とアスベスト曝露の実態に関する研究	金子昌弘	国立がん研究センター中央病院	¥100,772,000	補委 厚生労働省
後天性血友病XIII(13)の実態調査、発症機序の解明と治療方法の開発	一瀬白帝	山形大学	¥19,500,000	補委 厚生労働省
多剤耐性Acinetobacter baumannii に対する適切な感染対策方法の確立と病原性の解析に関する研究	賀来満夫	東北大学	¥1,820,000	補委 厚生労働省
計算解剖モデルに基づく診断支援	仁木 昇	徳島大学	¥22,100,000	補委 文部科学省
気道炎症モニタリングの一般臨床応用化:新しい喘息管理目標の確立に関する研究	一ノ瀬正和	和歌山県立医科大学	¥18,000,000	補委 厚生労働省
重症・難治性喘息の病因・病態の解明に関する研究	森 晶夫	相模原病院	¥14,040,000	補委 厚生労働省
新しい制御性T細胞や以外増幅法による喘息治療の開発:ぜん息治療法の開発及び確立に関する研究	中江 進	東京大学	¥23,400,000	補委 厚生労働省
抗HIV薬の適正使用と効果・毒性に関する基礎的研究	潟永博之	国立国際医療研究センター	¥21,060,000	補委 厚生労働省
国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治療方法の確立に関する研究	杉浦 互	名古屋医療センター	¥64,400,000	補委 厚生労働省
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 ー心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓性疾患を対象としてー	一色高明	循環器内科	¥60,000	補委 (財)循環器病研究振興財団 (株)バイオメディスインターナショナル
本邦における心不全の Etiology(Ischemic/Non-Ischemic)の違いによるCRT/D(CRTおよびCRTD)効果・長期予後を評価することを目的としたCUBIC試験へのデータ提供	一色高明	循環器内科	¥280,000	補委 (財)生産開発科学研究所
産業衛生の現場におけるうつ病の遷延化因子の解明と職場復帰プログラムの有用性の検討	中尾睦宏	心療内科	¥1,300,000	補委 文部科学省
健康診断を利用した自殺予防のためのうつ病スクリーニング有用性の検討	竹内武昭	心療内科	¥910,000	補委 文部科学省
CIDPの電気生理学的診断基準の感受性特異性についての前向き研究:SEPの有用性	園生雅弘	神経内科	¥1,040,000	補委 文部科学省
ジストログリカンの機能修復による筋ジストロフィーに対する治療戦略	松村喜一郎	神経内科	¥1,300,000	補委 文部科学省
筋ジストロフィーおよび関連疾患の分子病態解明、診断法の確立と薬物療法の開発に関する研究	砂田芳秀	川崎医科大学	¥54,000,000	補委 国立精神・神経医療研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患のユニークな治療法開発と病態解明	戸田達史	神戸大学	¥27,300,000	補委 厚生労働省
マトリックスメタロプロテアーゼ阻害薬を用いた筋ジストロフィー薬物治療の基礎的研究	萩原広毅	帝京科学大学	¥910,000	補委 文部科学省
神経変性疾患に関する調査研究班	中野今治	自治医科大学	¥80,000,000	補委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	楠 進	近畿大学	¥65,000,000	補委 厚生労働省
遺伝子発現に基づく直腸癌化学放射線療法照射効果予測キットによる個別化治療の確立	渡邊聡明	外科	¥4,420,000	補委 文部科学省
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究	渡邊聡明	外科	¥787,500	補委 先端医療振興財団
肺腫瘍凍結治療の局所制御力向上を目指した治療支援シミュレーションシステムの構築	川村雅文	外科	¥1,700,000	補委 文部科学省
大腸癌における癌幹細胞様遊離癌細胞検出による再発予測診断と臨床応用	飯沼久恵	外科	¥1,690,000	補委 文部科学省
ベーチェット病に関する調査研究	石ヶ坪良明	外科	¥37,500,000	補委 厚生労働省
遺伝子発現解析によるStage II大腸癌再発ハイリスク例の選別法の確立	石原聡一郎	外科	¥1,950,000	補委 文部科学省
マイクロアレイによる大腸癌Cetuximab療法の効果予測と効果規定遺伝子の検討	野澤慶次郎	外科	¥2,340,000	補委 文部科学省
肝、腎、副腎、軟部組織、骨における凍結治療時の温度変化と病理変化の研究	中塚誠之	慶應義塾大学	¥1,690,000	補委 文部科学省
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	平田公一	札幌医科大学	¥25,000,000	補委 厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	渡辺 守	東京医科歯科大学	¥65,000,000	補委 厚生労働省
医療事故における無過失補償の可能性都限界:諸外国および他分野における補償システムとの比較研究	岩田 太	上智大学	¥9,000,000	補委 厚生労働省
Wilson病の肝癌発症の機序とその予防	児玉浩子	小児科	¥1,690,000	補委 文部科学省
Menkes病・occipital horn症候群の実態調査、早期診断基準確立、治療法開発	児玉浩子	小児科	¥11,500,000	補委 文部科学省
DisulfiramによるMenkes病の新規治療法確立	藤澤千恵	小児科	¥1,820,000	補委 文部科学省
神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究	池田 均	小児科	¥19,880,000	補委 厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療確立のための研究	岩本幸英	九州大学	¥18,482,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
網膜電気刺激による網膜視神経保護治療の開発	篠田 啓	眼科	¥850,000	補委 文部科学省
眼部悪性腫瘍の診療体制確立のための研究－難治眼内腫瘍に対する新規治療法の開発－	鈴木茂伸	国立がん研究センター中央病院	¥11,160,000	補委 (独)国立がん研究センター
オカルト黄斑ジストロフィーの効果的診断法の確立および病態の解明	角田和繁	東京医療センター	¥15,600,000	補委 厚生労働省
横斑変性カニクイザルを用いた補体抑制による加齢横斑変性の予防薬の開発	岩田 岳	東京医療センター	¥28,000,000	補委 厚生労働省
緑内障のmultiple rare variantsの発見と病態機序の解明による予防・治療法の開発	岩田 岳	東京医療センター	¥19,800,000	補委 厚生労働省
人工内耳を装用した先天性高度感音難聴小児例の聴覚・言語能力の発達に関するエビデンスの確立	山岨達也	東京大学	¥11,000,000	補委 厚生労働省
乾癬の病態におけるadipokineの役割:メタボリックシンドロームとの関連	神田奈緒子	皮膚科	¥500,000	補委 日本リディアオリリー協会
Adipokineの制御による乾癬の治療:メタボリックシンドロームとの関連	神田奈緒子	皮膚科	¥1,500,000	補委 日本医師会
多発性嚢胞腎における尿中分泌細胞小体の包括的解析	堀江重郎	泌尿器科	¥1,170,000	補委 文部科学省
酸化ストレスにより誘導されるアンドロゲンシグナルを標的とした前立腺癌治療の開発	井手久満	泌尿器科	¥2,210,000	補委 文部科学省
ras膀胱がんモデルにおけるテストステロンの関与	磯谷周治	泌尿器科	¥1,170,000	補委 文部科学省
高齢者のライフデザイン支援指標の開発	堀江重郎	泌尿器科	¥800,000	補委 (財)総合健康推進財団
多発性嚢胞腎における尿中バイオマーカーの探索的解析	堀江重郎	泌尿器科	¥1,000,000	補委 東京都福祉保険局 保険政策部
がん拠点病院と方向性を持つ在宅医療システムの構築	磯谷周治	泌尿器科	¥300,000	補委 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
がん医療に関するメディア報道が国民に与える影響の分析研究及び適正な医療報道のあり方の研究	松村有子	東京大学	¥15,372,000	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	塚本泰司	札幌医科大学	¥15,600,000	補委 厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	内藤誠二	九州大学	¥19,904,000	補委 厚生労働省
高齢者に対する適切な医療提供に関する研究	秋下雅弘	東京大学医学部 附属病院	¥25,350,000	補委 厚生労働省
進行性腎障害に関する調査研究	松尾清一	名古屋大学	¥73,000,000	補委 厚生労働省
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	中村祐輔	東京大学	¥1,118,000,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
精神障害者の認知機能障害を向上させるための「認知機能リハビリテーション」に用いるコンピュータソフト「Cogpack」の開発とこれを用いた「認知機能リハビリテーション」効果検討に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥5,000,000	補委 厚生労働省
統合失調症初発エピソードの認知機能障害の経過と認知機能リハビリテーションの効果	池淵恵美	精神神経科	¥1,040,000	補委 文部科学省
統合失調症の病因としてのゲノム不安定性とインプリンティングの解明	上野美華子	精神神経科	¥1,170,000	補委 文部科学省
麻酔による意識消失メカニズムの新たな展開－視床下部MCH産生細胞の役割－	福田 悟	麻酔科	¥2,340,000	補委 文部科学省
心肺停止患者に対する心肺補助装置等を用いた高度救命処置の効果と費用に関する多施設共同研究	坂本哲也	救急科	¥12,580,000	補委 厚生労働省
心肺停止傷病者の各種状況下における胸骨圧迫の有効性に関する研究	坂本哲也	救急科	¥500,000	補委 財団法人救急振興財団
急性心筋梗塞に対する病院前救護や遠隔医療等を含めた超急性期診療体制の構築に関する研究	野々木 宏	救急科	¥15,000,000	補委 厚生労働省
循環器疾患等の救急率向上に資する効果的な救急蘇生法の普及啓発に関する研究	丸川征四郎	救急科	¥25,400,000	補委 厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	山本保博	救急科	¥12,506,000	補委 厚生労働省
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究	今井尚志	宮城病院	¥42,000,000	補委 厚生労働省

計83

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Hepatology Res 40, 524-529, 2010	Effect of genipin on cholestasis induced by estradiol-17 β -glucuronide and lithocholate-3-O-glucuronide in rats.	Goto H	内科
Mol Gen Metab 100, 123-128, 2010	Favorable effect of 4-phenylacetate on liver functions attributable to enhanced bile salt export pump expression in ornithine transcarbamylase-deficient children.	Nagasaka H	千葉県こども病院
Dig Liver Dis 42, 718-723, 2010	A short version of a HRQoL questionnaire for Italian and Japanese patients with Primary Biliary Cirrhosis.	Montali L	Milano-Bicocca 大学
Intern Med 49, 2577-2582, 2010	Carcinosarcome of the liver.	Goto H	内科
Clin J Gastroenterol 3, 149-154, 2010	Autoimmune neutropenia due to antineutrophil antibodies in a patient with primary sclerosing cholangitis	Hanawa N	内科
Tissue Antigens 77, 239-243, 2011	Genetic association of Fc receptor-like 3 polymorphisms with susceptibility to primary biliary cirrhosis: ethnic comparative study in Japanese and Italian patients.	Tanaka A	内科
J. Atheroscler. Thromb	A SNP of NPC1L1 Affects Cholesterol Absorption in Japanese	T Maeda	内科
J.Clin Invest	Sphingosine-1-phosphate receptor-2 deficiency leads to inhibition of macrophage proinflammatory activities and atherosclerosis in apoE-deficient mice	M Kinoshita	内科
J Infect Chemother	Pseudomonas putida bacteremia in adult patients: five case reports and a review of the literature	吉野友祐	内科
Respiration	Cryptococcal Pleuritis Containing a High Level of Adenosine Deaminase in a Patient with AIDS: A Case Report	吉野友祐	内科
International Journal of Biological Sciences 2010; 6: 187-189.	Rab5(Q79L) interacts with the carboxyl terminus of RUFY3.	H Yoshida	内科
leukemia case. Leukemia Lymphoma 2010; 51: 717-719	Vascular endothelial growth factor acted as autocrine growth factor in an acute promyelocytic leukemia case.	Y Oka	内科
Int J Current Research 2010; 5: 34-37.	A proper mixture of food oil and lecithin is an excellent mediator for gene-transfer to mammalian cells.	H Yoshida	内科
Leuk Res 2011; 35: 663-669	Chronic myelogenous leukemia cells convert to myofibroblasts in vitro: Effect of vascular endothelial growth factor on development of the microenvironment.	R Shirasaki	内科
Eur J Haematol 2011; 86: 272-273.	FLT3 internal tandem duplication is associated with a high relapse rate and central nervous system involvement in acute promyelocytic leukemia cases: single institutional analysis	H Tashiro	内科
日本内科学会雑誌 2010; 99: 828-830	All-trans retinoic acidにより高カルシウム血症を来した急性前骨髄性白血病の2例	山本 義	内科
臨床血液 2011; 52: 18-22.	妊娠26週で発症した急性骨髄性白血病	田代晴子	内科
World J Gastrointest Endosc. 2010 Feb 16;2(2):54-60.	Endoscopic hemostasis techniques for upper gastrointestinal hemorrhage: A review.	Anjiki H	内科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Clin Biochem Nutr. 2010 Jul;47(1):27-31. Epub 2010 Jun 17	Gastroduodenal mucosal injury in patients taking low-dose aspirin and the role of gastric mucoprotective drugs: possible effect of rebamipide.	Yamamoto T	内科
Dig Endosc. 2010 Jul;22(3):250.	Antiplatelet agents and bleeding time after endoscopic biopsy of the gastric antrum in Japanese patients	Yamamoto T	内科
Dig Endosc. 2010 Jan;22(1):77.	High prevalence of gastroduodenal mucosal injury in patients taking selective serotonin reuptake inhibitors	Yamamoto T	内科
J Gastroenterol Hepatol. 2010 Apr;25(4):792-4. Epub 2010 Jan 14.	Prevalence of erosive esophagitis among Japanese patients taking low-dose aspirin	Yamamoto T	内科
Dig Dis Sci. 2010 Sep;55(9):2431-40.	Effects of proton pump inhibitors on gastric emptying: a systematic review	Sanaka M	城西国際大学
Inflammation and Regeneration	IL-33-induced activation of human basophils and eosinophils via ST2. Inflammation and Regeneration	Suzukawa M	内科
アレルギー	ARIA2008-日本の視点からの評価	大田健	内科
アレルギー	患者の治療満足度からみた喘息治療の実態	大田健	内科
Respiratory Medicine	Additive effects of transdermal tulobuterol to inhaled tiotropium in patients with COPD	M Ichinose	和歌山県立医科大学
Journal of Allergy and Clinical Immunology	Allergic Rhinitis and its Impact on Asthma (ARIA) guidelines: 2010 revision	Brozek JL	McMaster University
アレルギー	プライマリケア医による喘息コントロールの現状	大田健	内科
Allergy	Development and implementation of guidelines in allergic rhinitis - an ARIA-GA2LEN paper.	Bousquet J	University Hospital, Hospital Anaud de Villeneuve
Allergology International	Reference Ranges for Exhaled Nitric Oxide Fraction in Healthy Japanese Adult Population	Matsunaga K	和歌山県立医科大学
International Archives of Allergy and immunology	The <i>in vitro</i> effects of advanced glycation endproducts (AGEs) on basophil functions	Kaiyu Han	内科
J Immunol	Leptin enhances survival and induces migration, degranulation and cytokine synthesis of human basophils	Suzukawa M	内科
アレルギー	ガイドラインに沿った成人喘息の治療—JGL2009の改訂ポイント—	大田健	内科
Allergology International	Some asthmatics	Y Sano	佐野虎ノ門クリニック
Allergology International	Time trend in the prevalence of adult asthma in Japan: Findings from population-based surveys in Fujieda City in 1985, 1999, and 2006	Y Fukutomi	相模原病院
Rev Esp Cardiol.	Role of Microvessels in Occlusive In-Stent Restenosis.	鈴木伸明	循環器内科
EuroIntervention.	Angiographic impact of the GuardWire system on inflated coronary segments after six months: does the distal protection balloon of the GuardWire Plus lead to restenosis?	興野寛幸	循環器内科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Int J Cardiol.	Quantitative coronary optical coherence tomography image analysis for the signal attenuation observed in-stent restenotic tissue.	鈴木伸明	循環器内科
Psychotherapy and Psychosomatics	Anxiety as a predictor of improvements in somatic symptoms and health anxiety associated with cognitive-behavioral intervention in hypochondriasis	中尾睦宏	心療内科
Psychiatry Research	Smoking rates among schizophrenia patients in Japan	中尾睦宏	心療内科
International Journal of Psychiatry in Medicine	Relationship between smoking and family history of smoking in schizophrenia patients	中尾睦宏	心療内科
BMC Health Services Research	Increased number of Judo therapy facilities in Japan and changes in their geographical distribution	中尾睦宏	心療内科
Tohoku Journal of Experimental Medicine	Lack of leisure-time physical activity in non-obese Japanese men with components of metabolic syndrome	中尾睦宏	心療内科
日本心療内科学会誌	抗うつ薬ミルナシプランによるうつ病治療と職場復帰:再休職になった者とそうでない者との比較	中尾睦宏	心療内科
International Journal of Psychiatry in Clinical Practice	Validity of the self-reported smoking status of schizophrenia patients, as assessed taking gender-related differences into consideration	竹内武昭	心療内科
Psychiatry and Clinical Neuroscience	Validity of self-reported smoking in schizophrenia patients	竹内武昭	心療内科
Neurology	IFN β -1b may severely exacerbate Japanese optic-spinal MS in neuromyelitis optica spectrum.	Shimizu J.	東京大学
Kidney International.	Defective glycosylation of α -dystroglycan contributes to podocyte flattening.	Kojima K.	内科
Clin Neurophysiol	Two-step technique to optimize the medial antebrachial cutaneous nerve response.	Higashihara M	東京大学
Muscle Nerve	Origin of ulnar compound muscle action potential investigated in patients with ulnar neuropathy at the wrist.	Higashihara M	東京大学
Muscle Nerve	Intraoperative on-nerve nerve conduction study and conversion factor in the sural nerve	Oh SJ.	University of Alabama at Birmingham
Inflammatory Bowel Diseases	Ulcerative colitis-associated colorectal cancer shows a poorer survival than sporadic colorectal cancer: A nationwide Japanese study.	Watanabe T	外科
Current Colorectal Cancer Reports	Ongoing colorectal cancer adjuvant trials in Japan.	Watanabe T	外科
European Journal of Cancer	Prediction of liver metastasis after colorectal cancer using reverse transcription-polymerase chain reaction analysis of 10 genes.	Watanabe T	外科
Recent Advances Research Update	New approaches for early detection of ulcerative colitis (UC) associated cancer and surgical treatment of UC patients.	Watanabe T	外科
International journal of colorectal disease	Prognostic significance of response to preoperative radiotherapy, lymph node metastasis, and CEA level in patients undergoing total mesorectal excision of rectal cancer.	Ishihara S	外科
International Surgery	A case of paracecal hernia.	Shibuya H	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
International Surgery	A case of appendiceal Crohn's disease in which a laparoscopic appendectomy was performed	Hayama T	外科
静脈経腸栄養26(2): 757-763, 2011	耐糖能が低下した高齢経管栄養患者におけるL-イソロイシン配合流動食(DM-1)の血糖値上昇抑制効果	福島亮治	外科
Dig Endosc. 2010 Apr;22(2):158-9.	Traction mid-esophageal diverticulum associated with Pott's spinal caries.	Ikeda Y.	外科
J Heart Lung Transplant	The Impact of Sairei-to and its Individual Constituents on Cardiac Allograft Survival	Zhang Q	外科
Transplantation.	Depletion of alveolar macrophages abrogates prolongation of cardiac allograft survival induced by intratracheal delivery of alloantigen.	Iwami D	外科
Int Immunopharmacol	Immunomodulatory effects of eicosapentaenoic acid through induction of regulatory T cells.	Iwami D	外科
Cryobiology	On Freeze-Thaw Sequence of Vital Organ of Assuming the Cryoablation for Malignant Lung Tumors by Using Cryoprobe as Heat Source.	Kawamura M	外科
Am J Respir Crit Care Med	Thyroid transcription factor-1 influences the early phase of compensatory lung growth in adult mice	Kawamura M	外科
Int J Cancer	ADAM28 is a serological and histochemical marker for non-small-cell lung cancers	Kawamura M	外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Granulation tissue formation at the bronchial stump is reduced after stapler closure in comparison to suture closure in dogs	Kawamura M	外科
Surg Today	The efficacy of peritoneal oxygenation using a novel artificial oxygen carrier (TRM-645) in rat respiratory insufficiency model.	Matsutani N	外科
Oncol Lett	Association of plasma VEGF-A, soluble VEGFR-1 and VEGFR-2 levels and clinical response and survival in advanced colorectal cancer patients receiving bevacizumab with modified FOLFOX6	Aoyagi T	外科
Oncology	Predictive value of cancer stem-like cells and cancer associated genetic markers for peritoneal recurrence of colorectal cancer patients with curative surgery	Nakamura K	外科
J Clin Oncol	Prognostic significance of 18q loss of heterozygosity in microsatellite-stable colorectal cancer.	Watanabe T	外科
Ann Surg Oncol	Serum matrix-metalloproteinase-1 is a bona fide prognostic marker for colorectal cancer	Tahara K	外科
Gastric Cancer	The prognostic significance of isolated tumor cells in the lymph nodes of gastric cancer patients.	Fukagawa T	外科
Int J Oncol	RUNX3 copy number predicts the development of UC-associated colorectal cancer.	Watanabe T	外科
Med Oncol	Significance of microsatellite instability (MSI) for colorectal cancer following adjuvant therapy with doxifluridine.	Watanabe T	外科
Int Surg	A case of fulminant amebic colitis with multiple large intestinal perforations.	Yamada H	外科
Asian Pac J Cancer Prev	Usefulness of the Mononucleotide Marker "BAT-26" for Identification of Microsatellite Instability in Colorectal Cancers.	Watanabe T	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Oncology	Clinicopathological and prognostic value of microRNA-21 and microRNA-155 in colorectal cancer	Shibuya H	外科
Oncol Rep	Clinical significance of intraperitoneal CD44 mRNA levels of magnetically separated CD45-negative EpCAM-positive cells for peritoneal recurrence and prognosis in gastric cancer patients with stage II and III	Horikawa M	外科
J Surg Oncol	Is CD133 mRNA expression a prognostic factor in colorectal cancer?	Hayama T	外科
J Clin Oncol	Clinical Significance of Circulating Tumor Cells Including Cancer Stem-like Cells in Peripheral Blood for Recurrence and Prognosis in Colorectal Cancer Patients with Dukes stage B and C	Iinuma H	外科
J Gastrointest Surg	Eleven Cases of Postoperative Hepatic Infarction Following Pancreato-Biliary Surgery	三浦文彦	外科
Surgery	New prognostic factor influencing long-term survival of patients with advanced gallbladder carcinoma	三浦文彦	外科
World J Radiol	Arterio-biliary fistula as rare complication of chemotherapy for intrahepatic cholangiocarcinoma	早野康一	外科
Dig Surg	Huge mucinous cystic adenocarcinoma of the pancreas	早野康一	外科
J.Obstet.Gynaecol. Res. 36(3):676-680.	Erythematous and bullous rash strongly indicating toxic epidermal necrolysis associated with the use of intravenous ritodrine hydrochloride.	Shiba M	産婦人科
J.Obstet.Gynaecol. Res. 36(5):1009-1014.	Postoperative concurrent chemoradiotherapy for the high-risk uterine cervical cancer.	Takeshita S	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 59(1):122-125,2010	帝王切開中にアナフィラキシーショックを起こしたラテックスアレルギーの1例	杉原 武	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 59(2):260-263,2010	腹直筋内に腫瘤を形成し診断に苦慮した子宮内膜症の1例	香山哲徳	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 59(3):365-368,2010	白血病合併妊娠の1例	櫻井理奈	産婦人科
Bone Marrow Transplant 45: 69-77, 2010	Long-term outcome of cord blood transplantation from unrelated donors as an initial transplantation procedure for children with AML in Japan.	Isoyama K	昭和大学藤が丘病院
Pediatr Blood Cancer 54: 212-215, 2010	Retrospective Analysis of Non-Anaplastic Peripheral T-Cell Lymphoma in Pediatric Patients in Japan.	Kobayashi R	札幌北楡病院
Br J Haematol 148: 593-599, 2010	Quantitative assessment of PTPN11 or RAS mutations at the neonatal period and during the clinical course in patients with juvenile myelomonocytic leukaemia.	Mashuda K	信州大学医学部 附属病院
Leukemia 24: 383-396, 2010	Long-term results of Tokyo Children's Cancer Study Group trials for childhood acute lymphoblastic leukemia, 1984-1999.	Tsuchida M	茨城県立 こども病院
Acta Neuropathol 119: 513-520, 2010	Autopsy study of cerebellar degeneration in siblings with ataxia-telangiectasia-like disorder.	Oba D	埼玉県立小児医療センター
アレルギー	アクティグラフィーによる小児アトピー性皮膚炎の睡眠の評価	小林茂俊	小児科
アレルギー・免疫	小児アトピー性皮膚炎と睡眠障害	小林茂俊	小児科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
小児内科	基本的薬剤の選び方・使い方 その他のアレルギー疾患に用いられる薬剤	小林茂俊	小児科
ホルモンと臨床(0045-7167)58巻春季増刊 Page70-74(2010.04)	【内分泌クリニカル・カンファランス】 甲状腺頭蓋骨早期骨癒合症を契機に発見された幼児Basedow病の1例	志賀勝秋	小児科
骨折	上腕骨近位端骨折術後の可動域予測	小林 誠	整形外科
骨折	全国救命救急センターにおける整形外科医勤務実態調査	黒住健人	整形外科
骨折	小児長管骨塑性変形に対する骨切りの工夫	小林 誠	整形外科
骨折	大腿骨骨幹部骨折に対する髓内釘固定後偽関節：Case-control studyによる発生因子の検討	渡部欣忍	整形外科
JOSKAS	広範な軟骨下骨病変を有する足関節骨軟骨損傷に対する関節鏡視下逆行性海綿骨柱移植術の治療成績	高尾昌人	整形外科
JOSKAS	足関節骨軟骨損傷におけるT2マッピングを用いたMRI診断と足関節鏡所見の比較	松井健太郎	上尾中央総合病院
JOSKAS	三角骨症候群に対する後足部内視鏡視下手術の治療成績	印南 健	整形外科
整形外科	Kasabach-Marritt症候群をきたした乳児大腿部海綿状血管腫の1例	山本 徹	整形外科
整形外科	人工股関節全置換術後の在院期間	金崎志帆	整形外科
整形・災害外科 臨時増刊号	骨折内固定術後感染に対するイリザロフ法による治療	渡部欣忍	整形外科
整形・災害外科	リスフラン関節損傷の観血的治療	高尾昌人	整形外科
日本足の外科学会誌	母趾IP関節損傷に対して基節骨移動骨切り術を行った1例	久保摩耶	整形外科
日本外傷学会雑誌	消防防災ヘリを利用したドクターヘリの運用(高知県の運用)の検討	黒住健人	整形外科
日本骨・関節感染症学会雑誌	治療効果の判定に好中球上CD64分子発現量計測が有用だった上肢劇症型A群溶連菌感染症の一例	加藤成隆	整形外科
日本骨・感染症学会雑誌	手術後感染の治療経過中、感染と薬剤熱の鑑別に好酸球上CD64分子発現量の測定が有用であった1例	加藤成隆	整形外科
日本人工関節学会誌	転子下短縮骨切り術併用人工股関節全置換術にカスタムメイド・ステムを用いた症例	金崎志帆	整形外科
日本人工関節学会誌	Anatomicステムを用いたセメントレスTHAの成績—表面加工範囲の影響—	小林敬輝	整形外科
日本人工関節学会誌	Charcot膝関節に対して両側人工膝関節全置換術を施行した1例	王 耀東	整形外科
日本整形外科学会	後方進入法による人工関節全置換術	中村 茂	整形外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
日本整形外科学会	創外固定法における抗菌薬の使用法:Pin site感染への対処	阿部哲士	整形外科
日本手外科学会雑誌	四肢に発生した神経鞘腫の治療成績—術後神経脱落症状についての検討—	木村理夫	整形外科
臨床雑誌整形外科	Kasabach-Merritt症候群をきたした乳児大腿部海綿状血管腫の1例	山本 巖	整形外科
臨床雑誌整形外科	人工股関節全置換術後の在院期間	金崎志帆	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg	Calcaneal osteotomy for the treatment of plantar fasciitis.	Miyamoto W	島根大学
American Journal of Sports Medicine	Retrograde cancellous bone plug transplantation for the treatment of advanced osteochondral lesions with large subchondral lesions of the ankle.	Takao M	整形外科
Arch Orthop Trauma Surgery	Calcaneal osteotomy for the treatment of plantar fasciitis.	Miyamoto w	島根大学
European Spine Journal 19:1690-1694, 2010	Comparison of enlargement of the spinal canal after cervical laminoplasty: open-door type and double-door type	Hirabayashi S	整形外科
Journal of Arthroplasty 25(2):263-267, 2010	Minimal Radiation Dose Computed Tomography for Measurement of Cup Orientation in Total Hip Arthroplasty	Arai N	整形外科
Journal of Orthopaedic Trauma 24(3)Suppl.:S56-S61, 2010.3	Ultrasound for Fracture Healing: Current Evidence	Watanabe Y	整形外科
Journal of Orthopaedic Trauma 24(4):212-216, 2010.4	Early Full Range of Shoulder and Elbow Motion is Possible After Minimally Invasive Plate Osteosynthesis for Humeral Shaft Fractures	Kobayashi M	整形外科
形成外科 10月 第53巻 第6号 別刷	頬骨骨折の治療	平林慎一	形成外科
形成外科 10月 Vol53 P112-113	顔面骨骨折 頬骨骨折	平林慎一	形成外科
形成外科 10月 Vol53 P70-71	Hemifacial microsomia	幕内美奈	形成外科
Biomaterials. 2010 Jun;31(16):4506-16. Epub 2010 Mar 4.	The application of atelocollagen gel in combination with porous scaffolds for cartilage tissue engineering and its suitable conditions.	Yamaoka H	形成外科
Biomaterials. 2010 Jun;31(16):4506-16. Epub 2010 Mar 4.	The optimization of porous polymeric scaffolds for chondrocyte/atelocollagen based tissue-engineered cartilage.	Tanaka Y	東京大学
JPlast Reconstr Aesthet Surg.2010 Aug;63(8):1312-7	Digital artery perforator(DAP)flaps:modifications for fingertip and finger stump reconstruction	Mitunaga N	東京大学
J Clin Invest 2010 Nov 1;120(11):3979-95.	Sphingosine-1-phosphate receptor-2 deficiency leads to inhibition of macrophage proinflammatory activities and atherosclerosis in apoE-deficient mice.	Wang F	金沢大学
形成外科(0021-5228)54巻 2号 P167-175(2011.02)	経上顎洞法による眼窩底骨折治療の経験	江口智明	虎の門病院
形成外科(0021-5228)53巻 4号 Page455-459(2010.04)	いわゆるcoccygeal padの1例	加藤晴之輔	虎の門病院

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Craniofac Surg.2011 Jul; 22(4):1210-4	Straightforward factors for predicting the prognosis of blow-out fractures.	Higashino T	静岡県立総合病院
J Reconstr Microsurg.2010 Aug;26(6):417-24.Epub 2010 Mar22	Versatility of chimeric flap based on thoracodorsal vessels incorporating vascularized scapular bone and latissimus dorsi myocutaneous flap in reconstructing lower-extremity bone defects due to osteomyelitis.	Tachi M	東北大学
日本美容外科学会誌 No.3 Vol47 P78-84	脂肪由来幹細胞を付加した脂肪注入移植術－乳房インプラント抜去と同時脂肪移植による豊胸－	浅野裕子	セルポートクリニック横浜
形成外科 1月Vol 54 P39-47	乳房部分切除後変形に対する脂肪幹細胞加脂肪移植による再建	浅野裕子	セルポートクリニック横浜
PEPARS 2月 No. 50 P58-65	脂肪組織由来幹細胞付加脂肪移植による軟部組織増大術	浅野裕子	セルポートクリニック横浜
医学のあゆみVol. 237 No.8 P828-832	脂肪注入移植法を用いた乳房再建	吉村浩太郎	東京大学
形成外科 10月Vol 53 P204-205	フェイスリフト －スレッドリフト－	石井秀典	形成外科
Exp Eye Res. 2010 Oct;91(4):491-9.	Human uveal melanoma cells inhibit the immunostimulatory function of dendritic cells.	Ma J	眼科
Am J Ophthalmol. 2010 Dec;150(6):876-82	Intravitreal injection of autologous plasmin enzyme for macular edema associated with branch retinal vein occlusion.	Sakuma T	眼科
Case Reports in Ophthalmol. 2011 Feb 21;2(1):73-7.	Two cases of unusual conjunctival protrusion associated with congenital ichthyosis.	Hazuku T	大分大学
Int Ophthalmol. 2011 Feb;31(1):9-13. Epub 2010 Dec 31.	Optical Coherence Tomographic Assessment of Dynamic Macular Changes in Patients with Vogt-Koyanagi-Harada Disease.	Ikewaki J	大分大学
Clin Ophthalmol 2011 Jan 20;5:115-21.	High Correlation of Scotopic and Photopic ERG Components with Severity of Ocular Circulation Disturbances Following Central Retinal Artery Occlusion.	Matsumoto CS	眼科
Clin Ophthalmol. 2010 Dec 10;4:1515-20.	Pattern-reversal visual evoked potential in patients with occult macular dystrophy.	Hanazono G	慶応義塾大学
Case Reports in Ophthalmology 2010 Sep 21;1(2):56-62.	Two cases of endogenous endophthalmitis caused by gram positive bacteria with good visual outcome.	Itoh M	杏林大学
Clin Ophthalmol 2010 Sep 7;4:1003-5.	Combined Vitreous and Cataract Surgeries in Highly Hyperopic Eye.	Inoue M	眼科
Case Reports in Ophthalmology 2010 Jun 11;1(1):14-19.	Cystoid macular edema: possible complication of Infliximab therapy in Behçet's Disease.	Ikewaki J	大分大学
Jpn J Ophthalmol. 2010 Sep;54(5):467-75. Epub 2010 Nov 5.	Repeated transchoroidal implantation and explantation of compound subretinal prostheses: an exploratory study in rabbits.	Gekeler F	チュービンゲン大学
Br J Ophthalmol. 2010 Apr;94(4):498-502.	Twenty-three Gauge Cannula System with Microvitoretinal Blade Trocar.	Inoue M	杏林大学
Retinal Cases & Brief Reports 4(1):55-58, Winter 2010.	Functional and Morphological Evaluation of Purtscher's Retinopathy.	Yamada K	大分大学
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2010 Dec 1;78(5):1532-40.	Dose-response effect of charged carbon beam on normal rat retina assessed by electroretinography.	Mizota A	眼科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
眼科臨床紀要(1882-5176)3 巻5号 Page451- 454(2010.05)	光凝固未施行糖尿病網膜症に対する硝子体手術成績	渡邊恵美子	眼科
臨床眼科(0370-5579)64巻6 号 Page963-966(2010.06)	炭素イオン線照射後に照射野内再発をきたした脈絡膜悪性黒色腫の1例	山田紗衣	眼科
眼科臨床紀要(1882-5176)4 巻1号 Page41-47(2011.01)	交代性上斜位を考える 斜視弱視と交代性上斜位	箕田春香	眼科
Ann Oto Rhinol Laryngol	Prevalence of acoustic neuromas associated with each configuration of pure tone audiogram in patients with asymmetric sensorineural hearing loss.	Suzuki M.	耳鼻咽喉科
Sleep Med	Arousals in obstructive sleep apnea patients with laryngopharyngeal and gastroesophageal reflux.	Suzuki M.	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	Multiple system atrophy manifesting as complex sleep-disordered breathing.	Suzuki M.	耳鼻咽喉科
J Laryngol Otol	Histopathological differences in bony destruction of malleus and incus following mastoidectomy.	T Sasaki	北社会保険病院
Auris Nasus Larynx	Cochlear implantation in a patient with atypical Cogan's syndrome complicated with hypertrophic cranial pachymeningitis.	S Kawamura	東京大学
Ann Otol Rhinol Laryngol	Dislocation of stapes with footplate fracture caused by indirect trauma.	R Kagoya	東京大学
Purinergic Signal	Purinergic signaling in cochleovestibular hair cells and afferent neurons.	K Ito	耳鼻咽喉科
Hear Res	Functional ligand-gated purinergic receptors (P2X) in rat vestibular ganglion neurons.	K Ito	耳鼻咽喉科
Otolaryngol Head Neck Surg	Etiology and 1-year follow-up results of hearing loss identified by newborn hearing screening in Japan.	N Adachi	埼玉小児医療センター
Ann Otol Rhinol laryngol	Risk factors for hearing loss after pediatric meningitis in Japan.	N Adachi	埼玉小児医療センター
ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec.	Comparison of Hearing Improvement and Complications after Stapes Surgery with and without Potassium Titanyl Phosphate Laser for Manipulation of the Foot Plate.	Sakamoto T	東京大学
Hum Immunol 71 (12):1161- 1171, 2010	Increased serum leucine, leucine-37 levels in psoriasis: positive and negative feedback loops of leucine, leucine-37 and pro- or anti-inflammatory cytokines.	Kanda N	皮膚科
Immunobiology 216 (4):497- 504, 2011	The antimycotic drugs itraconazole and terbinafine hydrochloride induce the production of human b-defensin-3 in human keratinocytes.	Kanda N	皮膚科
J Leukoc Biol 89(6):935-44, 2011	Human b-defensin-2 enhances IFN-g and IL-10 production and suppresses IL-17 production in T cells	Kanda N	皮膚科
Endocrinology (in press)	Visfatin enhances CXCL8, CXCL10, and CCL20 production in human keratinocytes.	Kanda N	皮膚科
皮膚臨床52 (4): 539-542, 2010	糖尿病性前脛骨部色素斑を合併した晩発性皮膚ポルフィリン症の1例	浜野真紀	皮膚科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Skin Cancer 25(2):185-188, 2010	アポクリン腺癌の1例	田中隆光	皮膚科
臨皮 64 (9): 673-675, 201	Hidroacanthoma simplexの1例	石川明子	皮膚科
臨床皮膚、64(9): 684-686, 2010	鼻尖に生じた低色素性基底細胞癌の1例	山口祐子	皮膚科
Visual Dermatology、9(10): 1071-1073, 2010	昨年の夏に経験した蝮咬傷の2例	川添貴弘	皮膚科
皮膚病診療、32(増): 106-108, 2010	免疫染色検査	大西誉光	皮膚科
皮膚臨床、52(13): 2029-2032, 2010	皮膚 Mycobacterium abscessus感染症の1例	竹腰知紀	東京大学医学部 附属病院
Eur J Dermatol 20: 132-133, 2010	Pedunculated clear cell acanthoma. Report of a case with dermoscopic observation.	Tanaka T	皮膚科
Med Mycol. 48(4): 653-655, 2010	Isolation of Trichophyton rubrum var. raubitschekii from a dog	Kano R	日本大学
J Invest Dermatol 130(4):1034-1039, 2010	Possible roles of IL-27 in the pathogenesis of psoriasis.	Shibata S	東京大学医学部 附属病院
Biochemical Pharmacology 79: 982-989, 2010	Prostaglandin D2 induces the production of human β -defensin-3 in human keratinocytes.	Kanda N	皮膚科
臨皮 64 (2): 137-140, 2010	水疱性類天疱瘡と鑑別を要したrheumatoid neutrophilic dermatitisの1例	石川明子	皮膚科
J Dermatol 37: 397-406, 2010	Epidemiological survey of foot diseases in Japan: Results of 30 000 foot checks by dermatologists	Watanabe S	皮膚科
化学療法の領域 26 (8): 1632-1638, 2010	皮膚科領域における連鎖球菌感染症	渡辺晋一	皮膚科
臨皮 64 (11): 822-826, 2010	悪性萎縮性丘疹症 (Degos' disease) の1例	田中隆光	皮膚科
Medical Mycol 48(6): 824-7,2010	Human external ear canal as the specific reservoir of Malassezia slooffiae	Kaneko T	皮膚科
日本化学療法学会雑誌 58 (6):650-663, 2010	注射用pazufloxacin1回1000mg1日2回投与時の敗血症を対象とした臨床第Ⅲ相試験	荒川創一	神戸大学医学部 附属病院
日本化学療法学会雑誌 58 (6):664-680, 2010	注射用pazufloxacin1回1000mg1日2回投与時の細菌性肺炎を対象とした臨床第Ⅲ相試験	河野 茂	長崎大学病院
Int J Urol	Editorial Comment to Inverse expression of estrogen receptor- β and nuclear factor- κ B in urinary bladder carcinogenesis	Horie S	泌尿器科
Int J Urol	Fifth Joint Meeting of the American Urological Association and the Japanese Urological Association International Affiliate Society Meeting at the 105th Annual Meeting of the American Urological Association	Muto S	泌尿器科
Clin Exp Nephrol	The relationship between renal volume and renal function in autosomal dominant polycystic kidney disease.	Tokiwa S	泌尿器科
Cancer Sci. 2011;102(2):468-71.	Testosterone augments polyphenol-induced DNA damage response in prostate cancer cell line, LNCaP.	Ide H	泌尿器科

小計20

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Prostate. 2010;70(10):1127-33.	Combined inhibitory effects of soy isoflavones and curcumin on the production of prostate-specific antigen.	Ide H	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 2010 Aug;40(8):815-8.	Novel germ line mutation p53-P177R in adult adrenocortical carcinoma producing neuron-specific enolase as a possible marker.	Ide H	泌尿器科
J Urol 2010;184:2062-2067.	Baseline erectile function alters the cavernous nerve quantity and distribution around the prostate.	Hisasue S	泌尿器科
Acta Neurochir Suppl.2011;110(Pt2):105-109	Surgical procedure and results of cisternal washing therapy for the prevention of cerebral vasospasm following SAH.	Nakagomi T	脳神経外科
Br J Radiol	Imaging of early pancreatic cancer on multidetector row helical computed tomography	Takeshita K	放射線科
AJNR Am J Neuroradiol	Lens exposure during brain scans using multidetector row CT scanners: methods for estimation of lens dose	Suzuki S	放射線科
AJNR Am J Neuroradiol	Parasellar T2 dark sign on MR imaging in patients with lymphocytic hypophysitis	Nakata Y	国立精神・神経医療研究センター
Journal of Anesthesia 24(5): 71-74, 2010	Efficacy of amiodarone on refractory ventricular fibrillation resistant to lidocaine and cardioversion during weaning from cardiopulmonary bypass in aortic valve replacement for severe aortic stenosis with left ventricular hypertrophy	Y Morita	麻酔科 集中治療部
麻酔 59(4):402-431、2010	ハーフロジスティック関数適合を用いた心臓および心筋の収縮・弛緩機能の評価	水野 樹	麻酔科 集中治療部
麻酔59(4):432-439、201	挿管補助器具ガイド下のパーカー気管チューブを用いた気管挿管	水野 樹	麻酔科 集中治療部
日本臨床麻酔学会誌 30(7):925-930、2010	術中回収式自己血輸血:産科手術	水野 樹	麻酔科 集中治療部
麻酔 59(5):632-634、2010	ウィリアムス症候群の気管挿管	加藤真也	麻酔科 集中治療部
麻酔 59(6):731-733、2010	肥満と甲状腺腫による喉頭および気管偏位に対する意識下気管支鏡ガイド下挿管に有用であったパーカー気管チューブ	鈴木真野	麻酔科 集中治療部
麻酔 59(8):1000-1003、2010	筋強直性ジストロフィー妊婦の帝王切開に対する脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔	守 宏介	麻酔科 集中治療部
麻酔 60(1):104-106、2011	圧迫弾性ストッキングに含まれる合成ゴムのネオプレンによるアレルギー性接触性皮膚炎	水野 樹	麻酔科 集中治療部
麻酔 60(3):383-386、2011	エホバの証人における膝頭十二指腸切除術の麻酔管理	水野 樹	麻酔科 集中治療部
MB Medical Rehabilitation	顔面神経麻痺のリハビリテーション- 顔面神経麻痺の急性期リハビリテーション	栢森良二	リハビリテーション科
MB Medical Rehabilitation	顔面神経麻痺のリハビリテーション- 慢性期のリハビリテーション:症状と徴候を含める	栢森良二	リハビリテーション科
MB Medical Rehabilitation	顔面神経麻痺のリハビリテーション- 顔面神経麻痺の中核性リハビリテーション	栢森良二	リハビリテーション科
日本医事新報	顔面神経麻痺のマッサージ法	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jan	慢性顔面神経麻痺に対するボツリヌス毒素治療後の電気生理学検査所見と神経筋再訓練アプローチ	栢森良二	リハビリテーション科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Facial N Res Jan	ボツリヌス毒素による慢性顔面神経麻痺の治療効果と反復性	栢森良二	リハビリテーション科
医学のあゆみ	顔面神経麻痺のリハビリテーション	栢森良二	リハビリテーション科
臨床神経生理学	顔面神経障害の機能評価	栢森良二	リハビリテーション科
J Trauma.	M-study from an urban Trauma Center In Tokyo.	Fujita T	救急科
Am J Emerg Med.	A simple and useful coma scale for patients with neurologic emergencies: the Emergency Coma Scale.	Takahashi C	富山大学医学部
Circ J.	Diagnostic performance of a new multifunctional electrocardiograph during uninterrupted chest compressions in cardiac arrest patients.	Shinpuku G	宮崎大学医学部
J Trauma.	Comparison of the Airway Scope and Macintosh laryngoscope with in-line cervical stabilization by the semisolid neck collar: manikin study.	Takahashi K	横浜市民病院
骨折	全国救命救急センターにおける整形外科医勤務の実態調査	黒住健人	救急科 (外傷センター)
Resuscitation.	Extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for out-of-hospital cardiac arrest:A review of the Japanese literature.	Morimura N	横浜市立大学 医学部
Emerg Med J.	The Impact of an emergency telephone consultation service on the use of ambulances in Tokyo	Morimura N	横浜市立大学 医学部
日本臨床救急医学会雑誌	脳卒中救急診療の地域連携を目指したISLS/PSLS同時開催の試み	中村文洋	香川大学医学部

小計11
合計232

- (注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中込 忠好
管理担当者氏名	医事課 飯塚裕之, 医療情報課 安藤雅夫, 総務課 稲垣宏治 患者相談室 内田れい子, 薬剤部 渡邊真知子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線記録、紹介状、退院した患者 に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医療情報課 各病棟 各科診療科	診療録等(紙カルテ)は年度別・科別 ・アドレス順フィルムはターミナル デジット方式 その他については年度別
病院の管理 及び運営に 関する諸記録	従業員数を明らかにする 帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各科診療科	
	高度医療技術の開発及び 評価の実績	〃	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提 供の実績	医療連携室	
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
規則 第9条の 23及び 第11条 各号に掲げる 体制確保の 状況	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	総務課	
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理 を行う者の配置状況	安全管理部 総務課	
	当該病院内に患者か らの安全管理に係る相 談に適切に応じる体制 の確保状況	患者相談室	
	医療に係る安全管理 のための指針の整備状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況	安全管理部 総務課	
	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	安全管理部 総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課 医薬情報センター
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	安藤 雅夫
閲覧担当者氏名	安藤 雅夫
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 〇 件
閲覧者別	医師	延 〇 件
	歯科医師	延 〇 件
	国	延 〇 件
	地方公共団体	延 〇 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	57.8%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算 出 根 拠	A : 紹介患者の数	14,207 人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,638 人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	7,484 人	
	D : 初診の患者の数	42,902 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 1. 安全管理に関する基本的な考え方 2. 安全管理委員会その他の組織に関する基本事項 3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 安全確保を目的とした、事故報告書にもとづく改善策の立案、実施に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 病院職員と患者の情報共有に関する基本方針 7. 患者と家族への説明と同意に関する基本方針 8. 患者と家族等からの相談への対応に関する基本方針 9. 安全管理対策に関する指針および安全管理マニュアルの見直しと周知の方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 1. 安全管理対策の推進 2. 医療事故発生防止のための情報収集と教育 3. 医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 4. 発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 5. 発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 6. 発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 7. 発生した医療事故の原因究明の確認および指導 8. 発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
・研修の主な内容 別紙参照	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ○安全管理委員会において事故の事例分析および発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(3名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・所属職員：専任(4)名 兼任(12)名 ・活動の主な内容 1. 安全管理対策の推進 2. 安全管理部会のおよび臨時の安全管理委員会の開催 3. リスクマネージャー会議を開催し、安全管理委員会で決定された事項の周知徹底 4. 医療事故発生防止のための情報収集と教育 5. 院内各部署への立ち入り調査と関係書類の調査 6. 安全管理に関わる関係部署との連絡調整 7. 医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 8. 発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 9. 発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 10. 発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 11. 発生した医療事故の原因の究明および指導 12. 発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底 13. 安全管理委員会、安全管理部会リスクマネージャー会議の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

医療に係わる安全管理のための職員研修(平成22年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
新入職員オリエンテーション	平成22年4月1日(木) 平成22年4月2日(金)	8:30~17:00 8:30~12:30	看護職員 234名 医療技術員 28名 事務職員 5名	安全管理体制について 放射線に関する知識と安全対策について
研修医基礎研修	平成22年4月1日(木) ~ 平成22年4月23日(金)	9:00~17:00	研修医 33名	医療事故の法律問題と個人情報保護法 医療過誤および異常死の取り扱い 放射線の安全取り扱い総論 放射線の安全取り扱い各論 院内急変への対応 医療裁判について 医療事故防止 安全管理体制 インフォームド・コンセント 暴力行為への対応
職員研修会	平成22年4月16日(金)	17:30~19:00	254名	今、何をすべきか~守りの美学 講師:順天堂大学順天堂医院 医療安全推進部長:小林 弘幸
新規採用医師講習会	平成22年6月22日(火)	17:00~18:30	62名	安全管理体制について 講師:坂本安全管理副部長
医療事故防止に関する講習会 (ビデオ講習会含む) 第1回	平成22年6月24日(月) 平成22年7月23日(金) 平成22年7月26日(月) 平成22年7月27日(火)	17:30~19:40	1946名	救急カートの標準化について 講師:救急科高橋医師
医療事故防止に関する講習会 (ビデオ講習会含む) 第2回	平成22年11月18日(木) 平成22年12月3日(金) 平成22年12月9日(木) 平成22年12月21日(火) 平成22年12月22日(水) 平成23年1月11日(火) 平成23年1月12日(水) 平成23年1月13日(木) 平成23年1月17日(月)	17:30~18:40	1660名	輸血マニュアルについて 気管切開後の患者管理マニュアルについて
医療事故防止に関する講習会 (ビデオ講習会含む) 第3回	平成23年3月4日(金) 平成23年5月13日(金) 平成23年5月19日(木)	17:30~19:10	1619名	自殺企図患者のリスク管理マニュアル 中心静脈カテーテル挿入に関する ガイドラインの改定と経緯 医薬品の安全使用について

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会および組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のため職員研修に関する基本指針 4. 院内感染発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策のための指針および院内感染対策要綱の見直しと周知の方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内における感染症の発生状況の把握 2. 発生した感染症への対応策の一般的・個別的コンサルテーション 3. 院内感染症の発生予防と対応に関する情報の収集と提供 4. 院内感染症の発生予防の具体策の提案 5. 院内感染症の発生予防に関する教育 6. 院内感染症に関する研究 7. その他重要な感染症に関する情報の収集と教育、対策の 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・研修の主な内容</p> <p style="text-align: center;">別 紙 参 照</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院何感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○感染制御部・衛生委員会において感染症発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する。</p>	

院内感染対策に関する職員研修(平成22年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
新入職員 オリエンテーション	平成22年4月1日(木) 平成22年4月2日(金)	8:30~17:00 8:30~12:30	看護職員 234名 医療技術員 28名 事務職員 5名	院内感染対策について
研修医基礎研修	平成22年4月1日(木) ~ 平成22年4月23日(金)	9:00~17:00	研修医 33名	院内感染対策について 感染症
新入医師講習会	平成22年6月22日(火)	17:00~18:30	62名	院内感染対策について 講師:太田感染制御部長
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第1回	平成22年6月24日(木) 平成22年7月23日(金) 平成22年7月26日(月) 平成22年7月27日(火)	17:30~19:40	1946名	「空気感染対策について」 講師:古賀医師・工藤師長 「多剤耐性アシネトバクターについて」 講師:川上中検副技師長 「針刺し事故防止について」 講師:工藤師長・菊池看護師 「手指衛生について」 講師:太田部長・菊池看護師
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第2回	平成22年9月24日(金) ビデオオンデマンドシステム 平成22年9月27日(月)~ 平成22年10月2日(土)	17:30~19:00	1883名	「多剤耐性アシネトバクターの背景について」 講師:坂本哲也 「多剤耐性菌対応マニュアル」 講師:松永直久 「血管内留置カテーテル」 講師:古賀一郎
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第3回	平成22年11月18日(木) 平成22年12月3日(金) 平成22年12月9日(木) 平成22年12月21日(火) 平成22年12月22日(水) 平成23年1月11日(火) 平成23年1月12日(水) 平成23年1月13日(木)	17:30~18:40	1660名	「空気・飛沫感染予防について」 講師:山本藤乃 「多剤耐性アシネトバクター検出患者コホート 病棟での経験」 講師:河野肇 「部門・病棟別感染対策講習で学んだこと」 講師:高橋知子・佐藤光昭
院内感染予防 講習会 (ビデオ講習会含む) 第4回	平成23年3月4日(金) 平成23年5月13日(金) 平成23年5月19日(木)	17:30~19:10	1619名	「病院感染サーベイランスの意義と目的」 講師:森兼 啓太

医薬品の安全使用のための職員研修会(平成22年度)

研修区分	開催年月日	時間	参加人数	テーマ
研修医基礎研修	2010/4/14	9:50~10:50	36名	薬剤部案内と麻薬および向精神薬の管理 講師: 渡邊薬剤部長
第3回院内感染防止及び医療事故防止に関する研修会 (ビデオ研修含む)	2011/3/4 2011/5/13 2011/5/19	17:30~18:50	1619名	医薬品の安全使用について 講師: 安藤薬剤師

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従業員に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回
・活動の主な内容	
1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射	の取り扱いについて
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・手順書の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・業務の主な内容	
1) 使用前、使用中、使用後の点検 2) 1週間～1年の定期点検 3) 点検方法は各医療機器の取扱い説明書を参考に実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療開いの安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・その他の改善のための方策の主な内容	
○メーカーからの情報提供やインターネットの医療機器安全性情報等を収集し、安全管理部と相談し、電子カルティン フォメーションを通じて通達を出している。	